



---

# HD-TVI フルハイビジョン IR 搭載 ドームカメラ (ワンケーブルタイプ)

---

ユーザマニュアル

UD.7L0201D2124B01

私たちの製品を購入していただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善、更新していきます。

## 免責事項

アンダーライタース・ラボラトリーズ・インクは、本製品のセキュリティまたはシグナリングに関するパフォーマンスや信頼性をテストしていません。UL は、UI の標準安全規格 UL60950-1 に記載されているように、火災、衝撃、または災害の危険をテストしています。UL 認定は、本製品のセキュリティまたはシグナリングの側面のパフォーマンスまたは信頼性をカバーしていません。UL は、010000104603 に関するいかなる表明、保証、または証明もしません。

この製品のセキュリティまたはシグナリング関連機能のパフォーマンスまたは信頼性。

## 規制情報

### FCC 情報

**FCC 準拠:** この装置はテスト済みであり、FCC ルール パート 15 に規定され、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

### FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール パート 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

### EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35 / EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の

URL を参照してください。 [www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

#### カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) の規格要件を満たしています。

## 内容

第 1 章 はじめに .....	5
1.1 製品の機能 .....	5
1.2 概要 .....	6
1.2.1 タイプ I ドームカメラの概要 .....	6
1.2.2 タイプ II ドームカメラの概要 .....	6
第 2 章 インストール .....	7
2.1 天井への取り付け .....	8
2.2 インシーリング取り付け .....	11
2.3 ギャングボックス付きインシーリング取り付け .....	12
第 3 章 メニュー操作 .....	13
3.1 ビデオ出力 .....	13
3.2 言語 .....	13
3.3 セットアップ .....	13
3.3.1 シーン .....	13
3.3.2 レンズ .....	14
3.3.3 露出 .....	14
3.3.4 バックライト .....	14
3.3.5 ホワイトバランス (WB) .....	15
3.3.6 デイとナイト .....	15
3.3.7 NR .....	15
3.3.8 スペシャル .....	16
3.3.9 調整 .....	17
3.3.10 リセット .....	17
3.3.11 終了 .....	17

## 第 1 章 はじめに

---

### 1.1 製品の機能

---

このカメラは、高感度で高度な回路基板設計技術を備えた新世代のセンサーを採用しています。高解像度、低歪み、低ノイズなどの特徴を備えています。監視システムや画像処理システムに非常に適しています。

主な機能は次のとおりです。

- 高性能 CMOS センサーと高解像度は高品質の画像をもたらします。
- 低照度。
- オートスイッチ付き IR カットフィルタをサポートします。
- OSD メニュー、パラメータは設定可能です。
- オートホワイトバランス、オートゲインコントロール、電子シャッターコントロール、内部同期をサポートします。
- スマート IR モード。
- ユニット送信コントロール。
- 先進的な 3 軸設計は、異なる設置要件に対応します。
- サポート POC 機能(パワーオーバーケーブル)

## 1.2 概要

### 1.2.1 タイプⅠドームカメラの概要

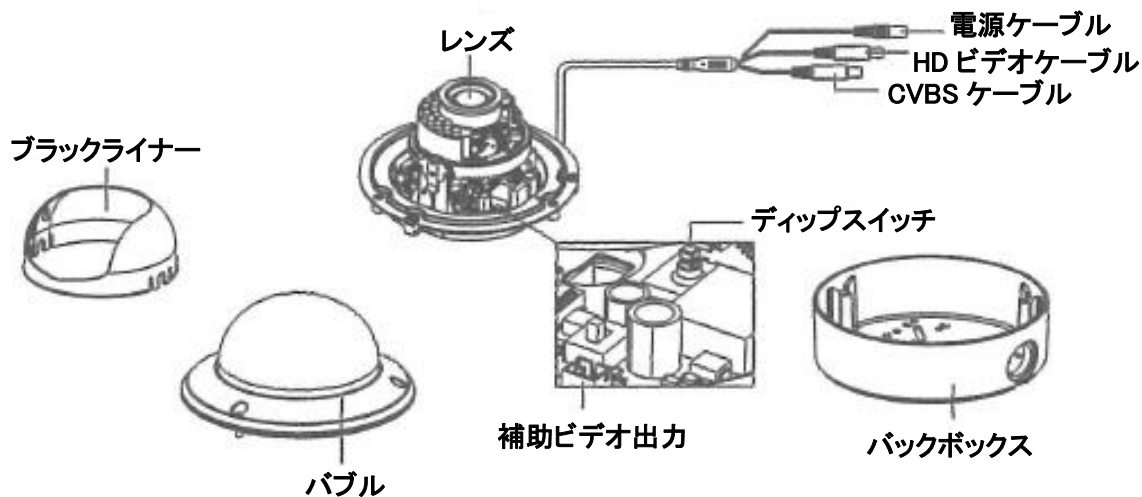


図 1-1 タイプⅠドームカメラの概要

### 1.2.2 タイプⅡドームカメラの概要

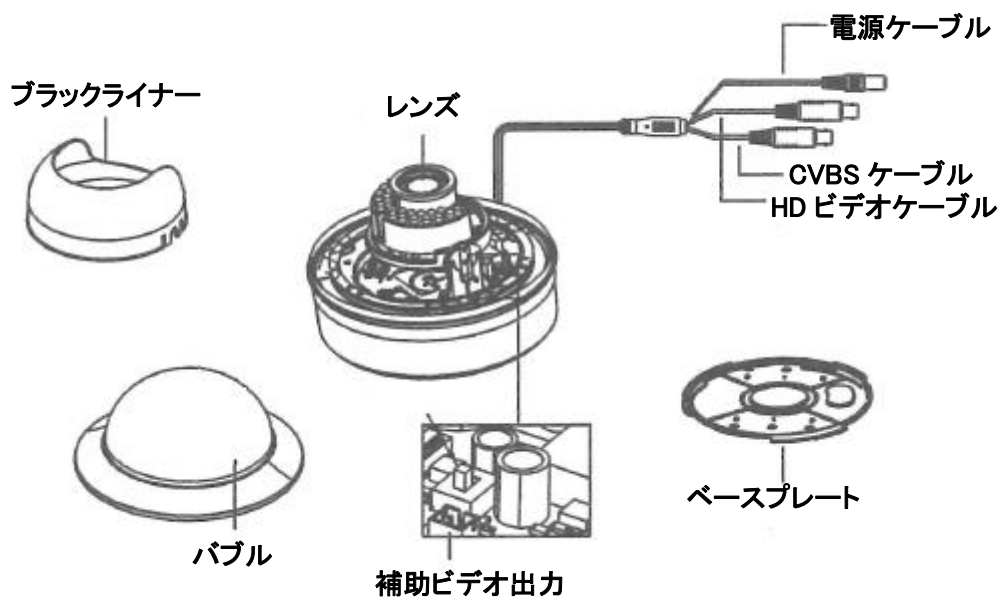


図 1-2 タイプⅡドームカメラの概要

## 第 2 章 インストール

---

### 始める前に:

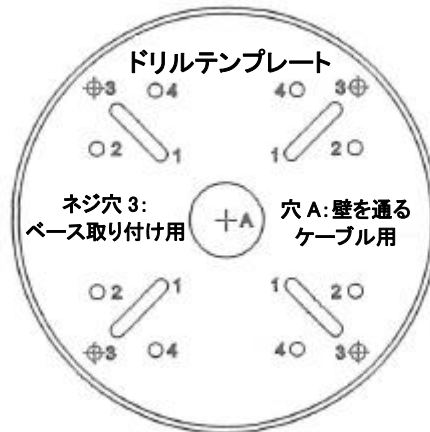
- パッケージ内のデバイスが良好な状態で、すべてのアセンブリパーツが含まれていることを確認してください。
- インストール中にすべての関連機器の電源が切れていることを確認してください。
- インストール環境については、製品の仕様を確認してください。
- 損傷を避けるために電源装置が電源出力と適合しているかどうかを確認してください。
- 壁の強度がカメラの重さの 3 倍とマウントの妨げにならないようにしてください
- 壁がセメント壁の場合は、カメラを取り付ける前に拡張ネジを挿入する必要があります。壁が木製の壁の場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定できます。
- 製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

## 2.1 天井への取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

タイプ I



タイプ II

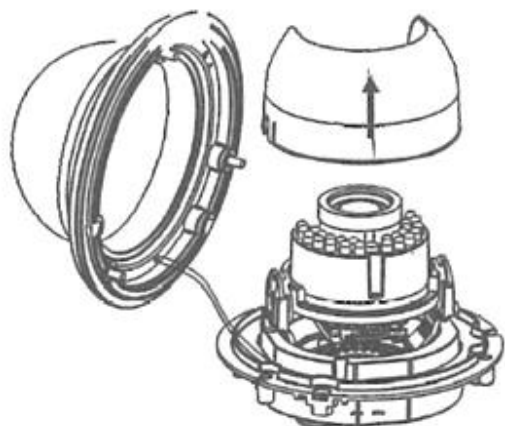


図 2-1 ドリルテンプレート

2. タイプ I カメラのバブルのネジを緩めて/タイプ II カメラのバブルを回転させて、バブルとブラックライナーを取り外します。



### タイプ I



### タイプ II

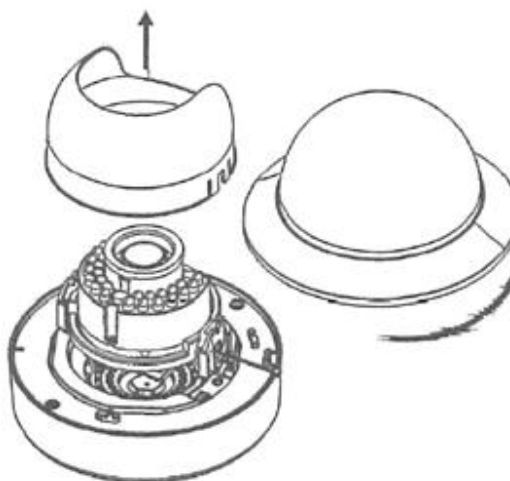
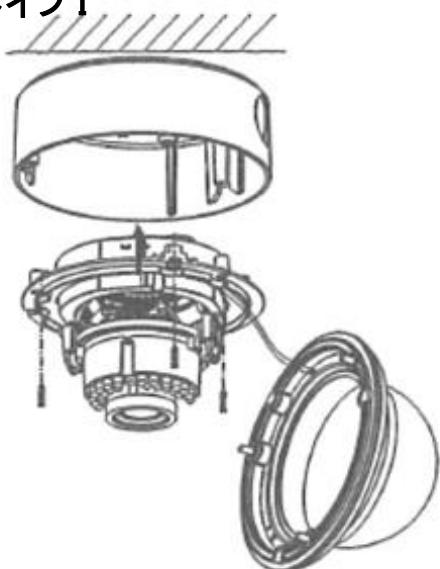


図 2-2 バブルを取り外す

3. タイプ I カメラのバックボックス/タイプ II カメラのベースプレートを天井に取り付け、付属のタッピングネジで固定します。
4. ケーブルをケーブル穴に通します。
5. カメラをバックボックス/ベースプレートに合わせ、セットネジを締めてカメラをバックボックス/ベースプレートに固定します。

### タイプ I



### タイプ II

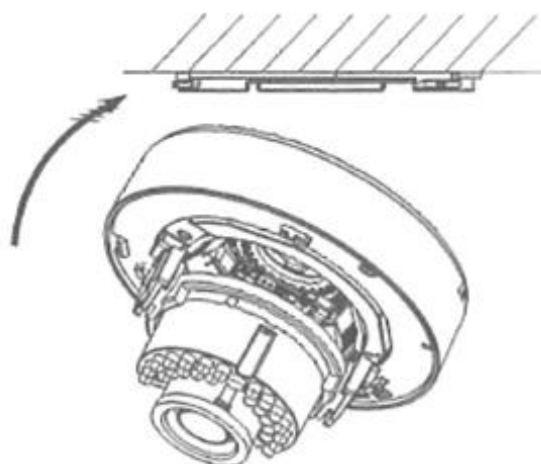
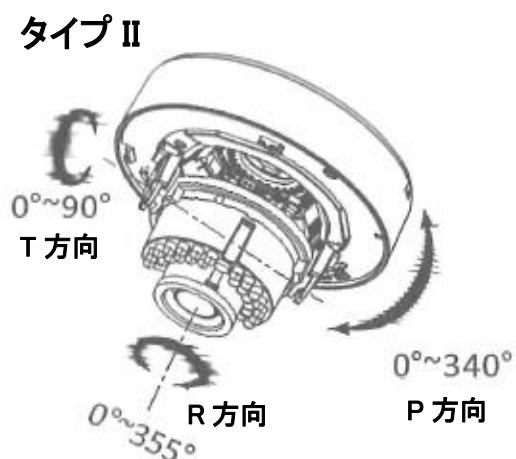
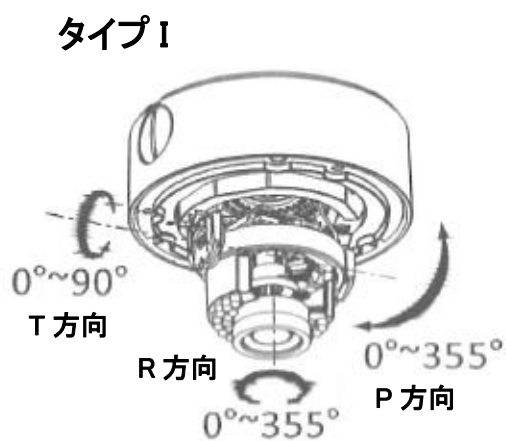


図 2-3 カメラを天井に固定する

6. 対応するケーブルを接続します。

7. 以下の図に従ってカメラを調整し、最適な角度を取得します。
8. カメラにブラックライナーを取り付け、タイプ I カメラのバブルにネジを締め付け/タイプ II カメラのバブルを回転させて完成させます。



## 2.2 インシーリング取り付け



インシーリング取り付ける場合は、インシーリングマウントを別途購入する必要があります。

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。
2. 2本のボルト穴に合わせてボルトをマウントに通します。トグルをボルトに合わせてみます。
3. 2つのトグルボルトを天井のネジ穴に通します。トグルが天井をしっかりと保持するまで、ボルトを回します。

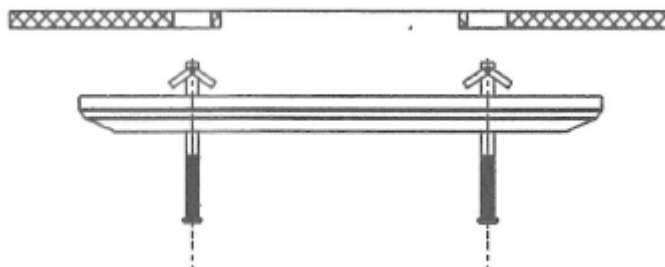
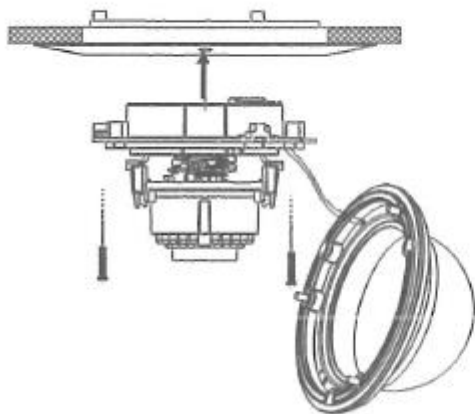


図 2-5 マウントをインストールする

4. 対応するケーブルを配線して接続します。
5. 付属のネジを使用してカメラをインシーリングマウントに固定します。

### タイプ I



### タイプ II

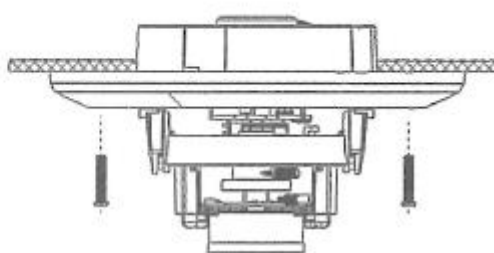


図 2-6 カメラをマウントに固定する

6. インシーリング取り付けセクションの手順 6~8 を繰り返して、取り付けを完了します。

## 2.3 ギャングボックス付きインシーリング取り付け

### ギャングボックス



タイプ I カメラのみがギャングボックス付きインシーリング取り付けをサポートしています。

1. インシーリング取り付けセクションの手順 2~4 を繰り返して、ギャングボックスに天井取り付け(付属)を固定します。

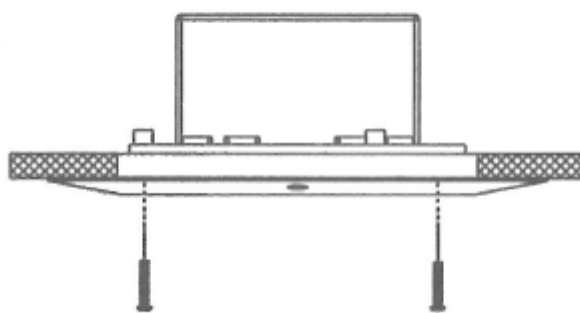


図 2-7 マウントをインストールする

2. 対応するケーブルを配線して接続します。
3. カメラをギャングボックスに合わせ、ネジを締めてギャングボックスにカメラを固定します。

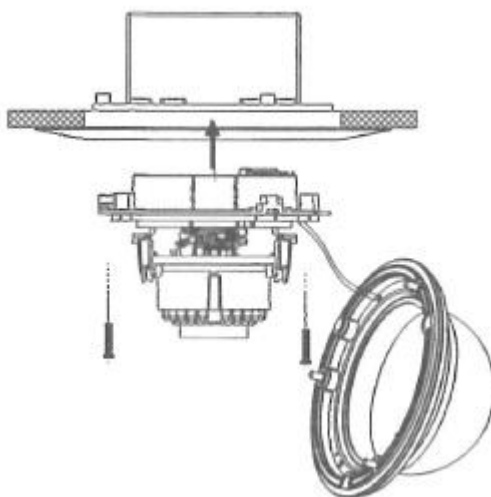


図 2-8 カメラをギャングボックスに固定する

4. インシーリング取り付けセクションの手順 6~8 を繰り返して、取り付けを完了します。

## 第 3 章 メニュー操作

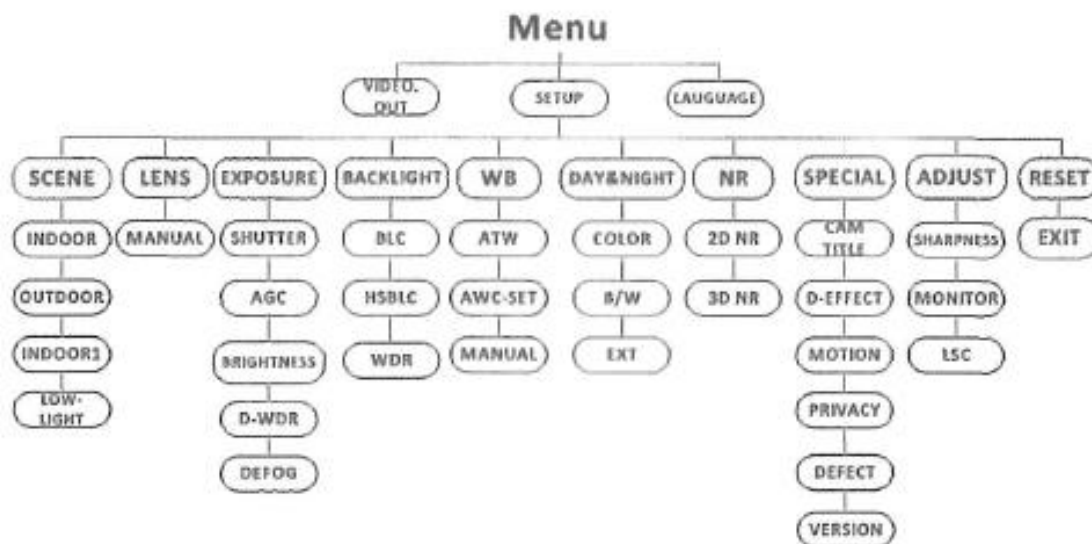


図 3-1 メインメニュー



同軸カメラコントローラーでメニューを呼び出してカメラパラメータを調整することができます(別売り)。サポートされている TVI DVR でメニューを呼び出すこともできます。

### 3.1 ビデオ出力

PAL または NTSC を選択できます。

### 3.2 言語

英語がサポートされています

### 3.3 セットアップ

#### 3.3.1 シーン

屋内、屋外、屋内 1、低光を作業環境として選択できます。

### 3.3.2 レンズ

カメラには固定レンズが装備されています。

### 3.3.3 露出

**シャッター:** 自動、1 / 30、1 / 60、FLK、1 / 240、1 / 480、1 / 1K、1 / 2K、1 / 5K、1 / 10K、1 / 50K が選択可能です。

**AGC:** AGC 値を 0~15 に設定できます。デフォルト値は 13 です。

**輝度:** 明るさの値は 0~100 の間で設定できます。デフォルト値は 36 です。

**D-WDR:** D-WDR を ON または OFF に設定できます。

**DEFOG:** DEFOG 機能を ON に設定して機能を有効にすることができます。位置、サイズ、DEFOG の配置は設定可能です。

EXPOSURE	
1. SHUTTER	AUTO
2. AGC	OFF
3. BRIGHTNESS	--- ----- 40
4. DEFOG	OFF
5. D-WDR	OFF
6. RETURN	RET

図 3-2 露出

### 3.3.4 バックライト

#### 逆光補正 (BLC):

- **ゲイン:** BLC のゲインを高、中または低に設定します。
- **エリア:** 上/下/左/右ボタンを押して、BLC の位置とサイズを定義します。RET または AGAIN を選択して、BLC メニューを戻すか、BLC エリアを再定義します。
- **デフォルト:** BLC 設定をデフォルトに復元します

#### HSBLC:

HSBLC 領域を選択します。DISPLAY ステータスを ON に設定します。上/下/左/右ボタンを押して、エリアの位置とサイズを指定します。HSBLC LEVEL を 0~100 に設定します。HSBLC モードでは、ALL DAY または NIGHT を選択します。BLACK MASK ステータスを ON または OFF に設定します。

HSBLC	
1. SELECT	AREA 1
2. DISPLAY	ON
Ĉ. LEVEL	-- ----- 40
4. MODE	ALL DAY
5. BLACK MASK	ON
6. DEFAULT	
Đ. RETURN	RET

図 3-3 HSBLC

### 3.3.5 ホワイトバランス(WB)

マニュアル、ATW(ホワイトバランスを自動追跡)、AWC が選択可能です。

### 3.3.6 デイとナイト

デイ/ナイトスイッチはカラー、B/W、EXT を選択できます。

### 3.3.7 NR

2D NR: 2D NR の状態を ON または OFF に設定できます。

3D NR: スマート NR の状態を ON に設定し、3D スマート NR 感度の範囲を 0~100 に調整します。START を設定します。AGC レベルを閾値として AGC を有効にし、END を設定します。AGC レベルを閾値として、AGC を無効にします。

2D&3D NR	
1. 2DNR	OFF
2. 3DNR	ON
Ĉ. RETURN	RET

図 3-4 NR

3D NR	
1. SMART NR	ON
Ĉ. LEVEL	----- --80
3. START. AGC	- -----10
4. END. AGC	- -----10
5. RETURN	RET

図 3-5 3D NR

### 3.3.8 スペシャル

**カメラのタイトル:**このセクションでカメラのタイトルを編集します。

**D-効果:**

- **フリーズ:**フリーズ機能を ON または OFF に設定します。
- **ミラー:**OFF、ミラー、V-FLIP、および ROTATE はミラー用に選択できます。
- **D-ズーム:**PAN&TILT から位置を設定して、ズームエリアを指定します。
- **スマートD-ズーム:**D-ズーム領域、感度、および時間は設定可能です。
- **NEG 画像:**NEG 画像を ON または OFF に設定します。

SPECIAL	
1. CAM TITLE	ON
Č. D-DFFECT	
Ć. MOTION	OFF
4. PRIVACY	OFF
5. LANGUAGE	ENG
Ď. DEFECT	
Đ. RETURN	RET

図 3-6 スペシャル

MOTION	
1. SELECT	AREA 1
2. DISPLAY	ON
Č. SENSITIVITY	---- ---- 30
4. MOTION VIEW	ON
5. DEFAULT	
Ď. RETURN	RET

図 3-7 動体検知

**モーション:**モーション領域を選択します。DISPLAY ステータスを ON または OFF に設定します。

上/下/左/右ボタンを押して、エリアの位置とサイズを指定します。感度を 0~6 に設定します。モーションビューステータスを ON または OFF に設定します。

**プライバシー:**プライバシー領域を選択します。表示状態を INV、MOSAIC、COLOR または OFF として選択します。上/下/左/右ボタンを押して、エリアの位置とサイズを指定します。



PRIVACY	
1. SELECT	AREA 1
2. DISPLAY	MOSAIC
Č. COLOR	10
4. TRANS.	1
5. DEFAULT	
Ď. RETURN	RET

図 3-8 プライバシーマスク

デフェクト:このセクションで LIVE DPC、スタティック DPC、ブラック DPC は調整可能です。

### 3.3.9 調整

シャープネス:シャープネスを 0 から 15 まで調整します。

モニター:モニターCRT、モニターLCD を選択できます。

LSC:LSC ステータスを ON または OFF に設定します。

ADJUST	
1. SHARPNESS	----- 15
2. MONITOR	LCD
Č. LSC	OFF
4. RETURN	RET

図 3-9 調整

### 3.3.10 リセット

すべての設定をデフォルトにリセットします。

### 3.3.11 終了

OK を押してメニューを終了します。